

静岡県警察持続可能な信号機の整備の在り方に関する検討会（第2回）

議事要旨

1 開催日時 令和2年1月23日（木）午後1時30分から午後3時20分まで

2 開催場所 静岡県警察交通管制センター 1階会議室

3 出席者

【検討委員】大村委員、小森委員（代理三治委員）、曾根委員（代理山梨委員）、瀧委員
名雪委員（代理渡邊委員）、新倉委員、平川委員、村松委員（代理長井委員）
吉川委員、和田委員、

4 議事概要

(1) 交通規制課長挨拶

吉田交通規制課長から、挨拶後、交通管制センターの紹介と役割、また、地域住民等との合意形成の在り方について意見を求めたもの。

(2) 第1回検討会の議事録の了承について

各委員に対し、事前に議事録への意見・確認を求め、修正した議事録を提示したところ各委員から了承を得たものである。

(3) 信号機撤去に向けた地域住民等との合意形成の在り方について

齋藤交通規制課長補佐から信号機の撤去にかかる現状や具体的事例を紹介し、各委員へ地域住民等との合意形成の在り方について意見を求めた。

ア 三治委員

- ・ 地域住民に対し、事業の進捗に合わせて3段階の説明会を実施している。
- ・ 昨今は、住民の方に、より理解していただくためVRや社会実験を行っている。

イ 吉川委員

- ・ 事業着手準備制度というものを平成21年度から導入している。
- ・ 「ワークショップ」という形で地元住民と意見交換の場を設けている。

ウ 瀧委員

- ・ 失敗例の紹介があったが、警察と住民とのコミュニティーがとれていない。
- ・ 自治会長も単年度で交代する地区もある。地元へ説明する時は、老人会、婦人部、子ども会、等各種団体の長を集めることや、その上の連長を含めて説明すべき。
- ・ 地域の回覧板は効果が薄い。

(4) 信号機撤去後の代替安全対策について

齋藤交通規制課長補佐から信号機撤去時に検討すべき安全対策や代替安全対策について説明した。

ア 瀧委員

- ・ 信号機が無い方が安全な場合もある。カラー舗装、「止まれ」文字だけでいい。

- ・ 信号機があるため朝晩、車が並び危ない。信号機があるから安全だというものではない。

イ 山梨委員

- ・ ラウンド・アバウトにして信号機を撤去していく方法もある。情報提供を願います。

ウ 新倉委員

- ・ 幹線道路の信号を撤去するのは難しい。生活道路においては、信号機がうまく機能する場合と機能しない場合がある。
- ・ 信号機の機能が働かないところは、実勢速度をどれだけ落とせるかがキーとなってくる。

(5) 本来守られるべきルールの周知、徹底について

齋藤交通規制課長補佐から、本来守られるべきルールの周知、徹底につき、現状と今後の取組みについて説明した。

(6) 報告書「持続可能な信号機の整備の在り方」(素案)の提示について

吉田交通規制課長、及び、齋藤交通規制課長補佐から報告書の素案について説明した。

(7) 質疑応答

ア 吉川委員

- ・ 信号の撤去というと今まで安全だったものが、そうではなくなるイメージがある。
- ・ 地元の道路だと沿線の住民や地権者がいるが、どこまで合意をとるかが難しい。

イ 山梨委員

- ・ 信号の撤去にあたり、道路管理者としても代替安全施設の連携をとっていく。

ウ 三治委員

- ・ 統合柱等、今後も協力していきたい。

エ 長井委員

- ・ 信号機の撤去については、各警察署の担当者のレベルで大きく左右される。
- ・ 信号機の撤去に際し、本部から担当者への指導・育成を図るべき。
- ・ 信号機がマイナスに働く場合は、交通の円滑が阻害され、住民が守らないものになってしまう。

オ 平川委員

- ・ 資料を拝見すると、静岡県警察持続可能な信号機の整備の在り方に関する検討会となっているが、中身は、どうやって信号機を削除するかという説明ではないか。
- ・ 信号機の費用等、自治体等が設置することが可能となるよう、検討しないのか。
- ・ 信号機を削るということだけに特化しないでほしい。

カ 大村委員

- ・ 子どもの安全対策というものは、是非、第一に考えていただきたい。
- ・ 信号の指針という基準があるが、学校近くの信号については配慮してほしい。

キ 渡邊委員

- ・ 今年に入って子ども達が乗る自転車の事故が多く発生しており、一旦停止無視が起因する

場合がある。交通ルールとして知識は身につけているが、行動が伴わない。

- ・ ルールやマナーを徹底し、引き続き地道な努力となるが教育していきたい。

ク 新倉委員

- ・ 警察の担当者が、どこまで信号機の撤去という話に対して理解しているか。
- ・ 信号撤去のマニュアルを作成し、担当者へ配布するだけでは絶対にうまくいかない。
- ・ 横断歩道のルール、信号が無い交差点での車と歩行者等のルール、自転車利用時のルール等を理解させていく必要がある。
- ・ 信号機を賢くするためにセンサーを使い、車の流れを捉えることが大切。集中制御エリア内の信号機をきちんと残していかなければならない。
- ・ 低コスト信号機の導入について、私は「技術的な調査委員会」のメンバーだったが、LED信号機の標示面を25センチに変えても、従来の電球形よりも十分明るい。
- ・ 複数交差点の信号制御は、環境や場所によって効果に差があるため熟慮が必要。

ケ 和田委員

- ・ 必要などころに必要なものを整備するため、不要なものを撤去していくことは非常に大事。
- ・ 信号の撤去がうまくいかなかった事例として、周辺住民への説明がうまくいかず、最終的に議員案件へと発展し、予算まで確保されていた信号撤去が実らなかったケースがあった。
- ・ 警察がなぜ撤去しようとしているのか十分説明し、また、住民がなぜ撤去に反対なのかという理由を把握した上で代替案を示す事が大事。
- ・ 担当者の力量によって撤去の話が順調に進むか否かが変わってくるため、必要なら本部員が地元説明の場に同行することも必要。
- ・ 警察が交通安全の啓発をするに当たっては、取締り活動も大事である。

コ 瀧委員

- ・ 信号機1基が何百万と費用がかかる。維持も大変なため、いらぬ信号機を撤去していくことが基本である。
- ・ 市道や狭い道路を入ったところに無駄な信号機が、かなりある。
- ・ 信号の撤去だけが主ではなく、現行信号の開発・改善が必要。
- ・ 地元へ説明する際、自治会長が一番対象となるが、連長等その上の応援を得ながらやることも必要。

5 次回検討会開催について

次回検討会の開催日や議事内容については、追って連絡することとする。